

座談会レポートvol.1

1. 開催の経緯
2. 参加者のご紹介
3. 派遣契約について
4. 派遣で働ける範囲について

1. 開催の経緯

日本派遣看護師協会は、派遣で働く看護師の働き方の多様化・労働条件や地位の向上・スキルアップ等に関する活動を通じ、離職者の低減・復職者の増加に向けた支援を行っています。

活動をするうえで、現在、派遣看護師で働かれている方々の率直なご意見をうかがい、今後の協会活動に生かすべく、座談会を実施するに至りました。

今回は、特に「派遣契約のメリット・デメリット」、現在限定的でしか認められていない「派遣で働ける範囲について」どのようなお考えかを聞いてみました。

【開催概要】

実施日時 : 2025年6月6日(金)13時から、都内

参加看護師 : 5名

2. 参加者のご紹介



企業で働くNさん
働きながら看護師資格を取得し、
起業経験もある積極派。



海外の勤務経験もあるMさん
米国で看護師資格を取得して、
日米の看護職の違いも経験。



**平日はOL、土日は派遣看護師
として働くKさん**
派遣のメリットを熟知して、自分
らしい働き方を実践。



**大学院で派遣看護師を研究する
Kさん**
理論と実践を兼ね備え、現在は
看護学生の学びを支援している。



ツアーナースとして働くOさん
病院勤務を経て、現在は、ツアー
ナースとして活躍中。

3. 派遣契約について

Q:ご自身の派遣契約を理解していますか？

(一同):あまり契約書を詳しく見ることはないですね。

「短期や単発の派遣が多いので、あまり契約内容は重要視しないですね。日給や時給を見て応募しているので。」
「私も、やりたい仕事に応募しているからあまり意識していないです。複数の派遣会社に登録していますが契約内容は記憶にないですね。」

Q:派遣で働くことのメリット・デメリットと思っていることはなんですか？

「色々な経験ができること。1日単位から仕事ができるので、直接雇用と比べていろんな仕事にチャレンジできるのが一番の魅力です。」

「条件や待遇など、派遣先に直接話しづらいことも派遣会社が間に入ってくれるので、その点は楽で良いかな。」

「一つの病院で長く働いていると、よそと比較することがないから、本当に自分の看護が正しいのか？という判断がつきにくくなるなというのも実感していますね。派遣としていろんな病院のやり方を見れるのがいい。」

「デメリットは何かあった時の保障がないこと。退職金もないし、病気などで働けなくなったら収入が絶たれてしまう。そういった意味でも、派遣元への帰属意識は低いです。病気した時の共済保険的なものがあれば違うかもしれない。」

Q:みなさんいろんな経験がおありですが、今までやってきた中で好きな仕事・もうやりたくない仕事はありますか？

「ツアーナースはとても楽しいですよ！観光地にもたくさん行きました。それとデイサービスの仕事もすごく好きです。もともとは病院で師長代理もやったりしていたんだけど、現場が好きというか。患者さんとじっくり関わっていたい。」

「私は逆に介護系が苦手です・・・ローカルルールみたいなものが多くて。経験が活かせるクリニックや病棟の仕事を選んでいきます。」

「イベントナースでは、撮影現場など普段立ち入ることのない現場に入れるのが貴重な経験で、楽しいです。」

「訪問入浴はあまり気が進まないですね。(一同、同意)組むメンバーによるのかもしれないけど、移動時間が気まづかったり(笑)。」

「手袋をさせてもらえないとか、看護師の立場が軽んじられているような気がして。体力的にもきついし、私も選ばないですね。」

Q:看護協会には加入していますか？入っている理由は、保険に加入するため？

「看護協会は、勤務先で入っている人がほとんどかと…。保険もそうだけど、研修が会員価格になったり、最新の情報が得られたり。」

「費用負担が大きいけど、私は個人で入っています。看護協会に入っていることで、フリーランスとしての信頼度がアップするから。」

「看護協会は復職研修もさかんにやっていますよね。eナースセンターへ登録していると情報が送られてきます。ブランクがある手技の研修を受けたいと思ったけど、派遣であっても就業中である場合は受けられな
いって言われました。派遣の仕事を選ぶとき、例えば注射などはブランクがないことを条件にしている募集もあるから、研修が受けられると選択肢が広がるんですが…。」

「一般的な派遣会社が用意している研修は、動画視聴など形骸的なものが多いような気がしてあまり受けていないですね。時給が出るものもあるけど、そもそも知らない人も多いんじゃないかと思います。」

Q:こんなことで困った！という経験があれば教えて。

「マニュアル作成をさせられたことがあります、派遣なのになあ…と思いながらやりましたね。派遣ばかりで回っている現場でした。」

Q:勤務のことで困った時には誰かに相談している？派遣会社の担当者、それとも現場の人？

「残念ながら、あまり派遣会社に相談することはないです。担当者によってはすごく親身に相談に乗ってくれることもあるけど…。」

「よほど問題になりそうなことがあった時には、自分の身を守るためにも派遣元に報告はするようにしていますね。」

4. 派遣で働ける範囲について

- ・現在、病院・クリニックでは、産休代替や紹介予定派遣など条件付き以外の派遣契約は禁止されています。
- ・どのように環境を整えれば、全面解禁の可能性はあるか？
- ・解禁されたら、病院・クリニックで働きたいか？

「チーム医療という点で課題とされているのであれば、病院での勤務経験があって、チーム医療をよく理解していれば問題ないんじゃないでしょうか。」

「逆に、病院勤務が合わなくて、短期間でドロップアウトした人だと難しいと思いますね。」

「そうですね。派遣こそ、協調性がある人じゃないとできないから。」

派遣の人に毎回業務を教える手間がかかるというのは、課題となりますか？例えば、何がどこにあるとか。

「私は常勤で働いていた時に派遣さんが来てくれていましたが、人がいないからこちらが頼んでいるので、問題なかったです。早く馴染んでほしいという気持ちもありましたし。」

「派遣さんに慣れている病院だと、マニュアルも整備されているし物品なども誰が見てもわかるようにラベリングされていたりするので、簡単なオリエンテーション程度で十分働けますよね。」

「外から人が来ることで、病院側も環境が整うというメリットがありますね。」

「新人さんならイチから教える義務があるけど、派遣さんは来てすぐに『じゃあ点滴行ってきて』でできるというのがメリットだから、基本的なことができない人は、そもそも難しいですけどね。」

「派遣は面接だけで実技試験があるわけではないから、『私これもこれでもできます』と言って応募してきた人が実際は全然だめというケースもありますよ。アメリカでは、2年ごとに資格の更新(研修)がありますが、日本もあったほうがいいと思う。年齢が問題というわけじゃないけど、老眼でだんだん採血とかできなくなってくるし・・・(笑)」

「派遣会社や協会で一定の研修があればいいですよ。基準をクリアした人には資格証のようなものがあれば、派遣先も自分自身も安心して『この業務内容なら大丈夫』と自信を持って応募できますね。」

「『派遣で働いてるの？私は経験が少ないからできないわ』とよく言われます。実技や研修で明確な指標があれば、潜在看護師と言われている人たちもまずは派遣からやってみよう、と思えるのでは？」

「割と病院の看護師以外の働き方を知らない人が多いですよ。派遣同士は横の繋がりが少ないので、今日こうして話げたのはとても貴重。潜在看護師に復職を目指す啓蒙的な活動は、もっとやった方が良い。」

「派遣会社のサイトも、仕事と給料しか書いていないが、それだけでないサイトを作って欲しいですよ。」

5. おわりに

現在、限定的にしか解禁されていない病院・クリニックへの派遣について、様々なご意見を頂きました。医療現場がひっ迫しているにも関わらず、約80万人いると言われている潜在看護師の復職は、あまり進んでいません。今回、お話をうかがい、病院・クリニックへの全面解禁は、条件さえ整えば問題なく実現でき、医療の充実をはかれると確信しました。

日本派遣看護師協会としては、この問題に真摯に向きあい、今後とも取り組んでまいります。

日本派遣看護師協会として、これまで会員看護師を対象としたアンケート調査などは実施したことはありますが、直接お会いしての座談会は初めての実施となります。会員の中から任意に抽出して、ご参加頂いたにも関わらず、様々な経験をされている方にお集まりいただき、2時間の予定を大きくオーバーしても話し足りない感じでした。

協会としても貴重な時間となりましたが、参加された方からも口々に非常に良い機会になったといわれ、実施してよかったと思いました。皆さんからも横のつながりがないことから、今後も継続してほしいとの声も頂き、最後には、皆さんで連絡先の交換もされていました。

お忙しいところ、ご参加頂き、ありがとうございました。今後とも協会活動へのご協力よろしくお願いします。

事務局 石丸

